

みぶ町政だより



2

月号

昭和51年 2月24日発行

発行所 栃木県壬生町役場 (毎月24日発行)

昭和34年 9月30日 第三種郵便物認可一部 9円



とじて保存しましょう。

節分祭行方

恒例の節分祭は、2月4日壬生寺の境内で盛大に行われました。

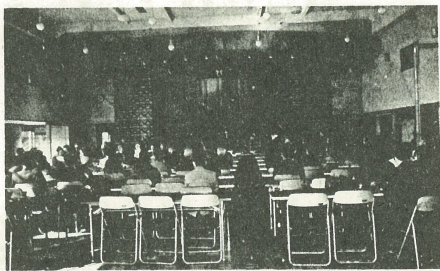
この節分祭は、慈覚大師の誕生地の壬生寺で行い、この日は東京はじめ各地からバスを貸切って団体の参観人が訪れて、約5000人の入出でにぎわいました。

槽の上では、この不況を追い払うかのように、掛声も一段と高く豆などがまかれました。

今月の人口

2月1日現在	対前月比
総人口31,014	63人増
男 15,421	31人増
女 15,593	32人増
世帯数 7,732	15世帯増

3月は「緑化推進の月」(木や花を植えましょう)



昭和五十一年の町政懇談会は、一月二十日午前九時から中央公民館で各種団体の代表者が多数出席して開催しました。懇談会には、主催者として町長はじめ各課長が出席し、また、議会では、議長はじめ各議員が出席して行われたものです。

この町政懇談会を開いた目的は、新年度の予算編成時期に当たり、町民のみならず、いろいろな要望に応え、明らかにして豊かな町づくりを期したいとのことです。

要項は、学校教育問題、農政問題、社会福祉問題などに集中し、活発な懇談会となりました。

その内容は、次のように要録してみました。

町長 昭和五十一年度の予算編成時期より、限られた予算をみなさんからのご意見、ご要望を聞いて、できるだけ住民サイドから考えたい。町政懇談会を開いたため、ここに

成期にあたり 談会ひらく

なお、昨年から継続しているインフラの中で、特に厳しい五十一年度を迎え、慎重に町政を執行しなければなりません。どうか建設的な発言をお願いいたします。

農業航空配布を毎年一回実施しておりますが、本町の実情からして、少くとも一回程度は実施する必要があります。したがって、これに対する町から助成金を計上したい。

航空配布事業の年一回の配布と助成については、町農委委員会において昭和五十一年度壬生

町農業施策に関する協議の中で検討され建議が提出されており、十分に検討し、生産者ご期待に添うべき努力いたします。

町農委委員会は、一段と検討する必要があります。如何ですか。

農協青年部と連携強調を期り、農業経営者研究会、研修会、共助会、研修会などを実施し、後継者の育成、優良農家の育成強化に努めます。

稲作および麦作振興の問題について、各地域に見られる耕作放棄地が数多くあります。これらを農業委託事業として検討してはどうか。

稲作、麦作、諸作物の休耕地に対しては利用および地域農家の振興を図るため、水田総合利用対策事業を通じ検討していただきたいと思っております。

農業委員会に加入している農家が少ないため、今後の加入促進

予算編 町政懇

を通じて推進いたします。

青少年の育成問題として、学年PTAを一年延ばして組織してはどうか。

中学校卒業すると、父兄・PTAはばらばらになってしまい、非行問題になる傾向があるので、中学校卒業後一年間の学年PTAの組織を強く望みます。

各学級長と十分協議してこの学年PTAの組織りを今後検討していきます。

農振地域を早く基盤整備して、生産の向上を図り、これに多額納税で町発展のために貢献できるようにしたい。

小倉川左岸の地域は、当分の間、農振地域として農業に動んでいただければならないことから、今後その地域の基盤整備を大規模に推進していきたいと思っております。

上田地区の平地林にゴミの不法投棄が見られるが、是非とも取り除いてほしい。

捨てた者を摘発し、引き取らせる法律もありますので、今

後十分取り締りをしてほしいと思っております。

学区制を近い将来に改革するかどうか伺いたい。

生徒の学力の低下が一番懸念されているところで、適正配置を教員の方々と今後十分に検討いたします。

壬生寺保育園周囲にきたが、壬生地区は、まだまだ保育所に入らない子どもが沢山あるので、もう、カ所保育園を新設してはどうか。

国・県をはじめ町として財政難のため、本年も断念しなければならぬことになってしまいました。しかし、来年度は何んとか努力したいと思っております。

壬生町内のメバコ販売店は六十八店もあり、町に対してかなりの消費税の還元を行っております。

約五千万円ほど町に消費税として還元される予定です。これは、消費者の協力によるものです。これらのお金を有効に使ってほしい。

多額の消費財でもあり、四母に組まれているか、これを育成する下部組織がないので、今後町教育委員会で育成に対する指導を大きく取りあげて推進してほしい。

町教育委員会今後十分検討していただきますので、みなさんのご協力をお願いします。

二分局の一部消防自動車を購入してから、十年近くになるので、機能が発揮できない状態なので、五十一年度は是非とも購入されたい。

消防委員会を通じて十分検討してはどうか。

上福葉の稲作所から北には、貯水槽の設備がないため、火災発生時には消火作業が難しく、是非貯水槽を設置してほしい。

土地の提供を含め、地元の方々と協力を得て今後前向きに推進していきたいと思っております。

新設小学校を建ててもらえるのは、大変ありがたいことだが、新設校のため、学力が低下するようにならないように、他の学校に匹敵するようにしてほしい。

他校に匹敵するように万全を期して開校するよう努力をする所です。

通学区域は、長い目で見ると、短中変更するようになっているように十分検討された上で決めてほしい。

新設校は勿論、中学校に至る通学区域を十分検討して決めるべきだと思います。

以下紙面の都合で省略いたします。

進事業に対して絶大な協力を願いたい。

今後、町として出来るだけのご協力をいたしたいと思っております。

昨年の三月に住所表示に関する審議委員の辞命をいただいたが、二回目の会議が開催できないがこれはどういったことになっているのか。

五十一年度は、関係機関との審議をし、五十一年度は実施地域の検討など、そして五十二年度から実施するという長期的計画です。どうかご承知ください。

子どもたちのために遊び場を作りたいので、町および安楽小の校庭の拡張をお願いしたい。

陳情、請願をいただきたい。できるだけご期待しております。

その時には、PTAの方や地権者の方のご協力をお願いします。

自治会長、保健委員、その他団体の長の任期が一月、四月とまちまちであるが、今後は一か年を以て、切替期も一斉に四月としてはどうだろうか。

町からは、できる限り二年以上の役職をお願いいたします。が、部活の慣習がありますので、この機会に新たをお願いいたします。

城東町増地田屋さんの前の調音問題を一挙解決された。

昨年五月に行われた町知事を囲んで農政懇談会でも取り上げられました。

基本的な方針等を知り、せるとは、町民にとって必要だと思っております。今後広報活動

町長のみならず、長い間の交際ありがとうございました。

町長の信任と、議会の二賞を戴き八年間、助役としての責務を全うすることが出来ました。みなさんのご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

光陰矢の如しとは甲斐、米し方を顧みず時、町長の施策に親意協力し、拙勤の賜にも成功し、学園都市構想の基盤確立の一助となったことを始め、思ふに及ばずにもあたたかきご声援をいただいたことに感謝を申し上げます。

今更には、みなさまにお別れするにあたり、日頃寄せられた温情に更めて感謝申し上げます。これからは町民の一員としてみなさまと共に町政発展を祈念し、協力してまいります。

私におかれましては、心より健康の上、ご幸福にお過ごしようお祈り申し上げます。

思いまと二十八日の長い間、役場におりましたので、今回退職することになり、感慨無量です。

私には、人生の大部分を、で過したと云えなくもありません。そして皆様のご指導、ご協力によりまして大過なく過ごすことができました。ご逝去のお礼を申し上げます。

私には、戦後の世帯の渾沌とたまたまに役場に入りまして、その間、学制改革、町村合併そして選挙や事務改善を果敢とされた難問があつたが、幸いにも関係者や皆様の理解ある協力によりまして微力ながらその責務果たすことができました。誠にありがとうございました。今後一町民として気持ちよい日々を迎えたいと思っております。

私たちが町、そして心のふる里のこよなき発展を祈り、皆様に厚くお礼を申す所です。

町民の皆様本来長い間お世話になりました。

思えば十年の間町長、議員、各種役員職員各位をはじめ町民の皆様、温かいお力添えにより、つややかに職責を果すことが出来ました。本当に有難い感謝の念一杯です。

在任中、学校教育面では各校等の施設充実と、先生方の教育技術向上に専念し、社会教育面では各種学級の施設充実と、先生活の教育技術向上に専念し、体力増進施設や行事の実現、あるいは有形無形財産の保護保全を努めました。微力を行ってまいりましたが、非力ながら自分自身をまず全く汗流のいたりで、

今後一町民として町の発展を祈りながら過ごしてまいります。

長い間有難うございました。

前助役 荒川 三 男

前助役 田 辺 武

前助役 藍 田 菊太郎

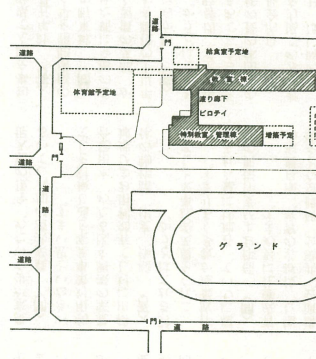
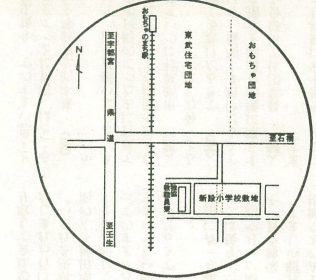
新設小学校の建設はしめる

開校は昭和五十二年四月



昭和五十年度および昭和五十一年度の継ぎ事業として、新設小学校がおもちゃ団地南側の町有地に建設することになり、二月十日午前十時から現地において起工式が行われました。

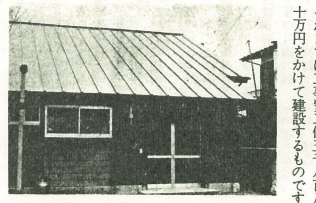
この事業は、町の長期振興計画では、昭和五十一年および昭和五十二年にかけて新設する計画でしたが、国の不況対策事業として、



幸い補助金が受けられることになり、計画より一年早く建設することになりました。

この新設小学校の問題は、近年おもちゃ団地、東武団地、六美町至五町周辺の新興住宅に伴う人口の急増から、東小学校の校舎不足の解消をするために、小学校の新設となったものです。

したがって、東小学校が分離し



て新設校と二年から六年生までを二分することになります。

現在検討しているところは、建設する場所は、昭和三十七年当時、おもちゃ団地の誘致に伴い東武鉄道から寄附された最も環境の良い土地です。

校舎については、園の北側に南側の管理棟が一階建て、北面が教室棟で二階建てとなります。

そして、普通教室は十六室および特別教室五室となり、一年生から六年生まで十四級で開校する予定です。

敷地は、約三、〇〇〇平方メートルプールや体育館の建設予定地を含めて、運動場は敷地全体の半分ほどあり、運動は十分出来ます。

開校は、昭和五十二年四月で、それまでに工事費二億五千八百八十万円をかけて建設するものです。

農業施策を 建議する

壬生町農業委員会(荒川三男会長)では、過去三年の定例会において、町の農政問題を検討してきた結果、次の三件を昭和五十一年度の施策として実現させるよう町長に建議、要望をされました。

一、稲作転換農業生産政策事業に係る主要地育成等全体助成措置について

二、農業航空散布事業の年一回実施の推進について

三、休耕田の利用促進について

以上の三件について、農業の振興を図る対策等を考慮されるよう要望されました。

城南公民館が完成

城南自治会(中若親会長)では、かねてから話し合の場がほしいということから、このほど豊福院の西にりっぱに公民館が完成しました。

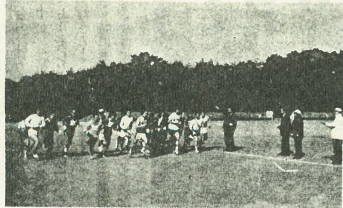
この建設にあつては、自治会長はじめ地元約百世帯が満場一致で、この建設に賛同したものです。

建物は、総面積七七・五五平方メートル(約二十一坪)で、平面二二十四帖と版ノ間二二三・一平方メートル、そのほか自所、便所などが設備されています。

工費は、約四百万円をかけてきました。

羽生田青年竹の会が優勝

第六回青年団駅伝大会



駅伝大会の出発のよす

区間(約二十五キロメートル)のコースを女性を含めて力走されました。

その結果は、次のとおりです。

○青年団の部

一位 羽生田青年竹の会 A、二位 北小林青年団、三位 助吉青年団、四位 藤井青年団、五位 国谷青年団、固谷、上稲葉、七ツ石下稲葉、中泉、羽生田竹の会 B の順でした。

○一般の部

一位 藤岡陸友会、二位 日産自動車、三位 日産山岳部、四位 石橋ラビ部、五位 石橋消防署、以下北研、モネジ、役場消防隊、王石ロマンズ、バンダイ工業、小山岳会、昭和クラブ、旭青年会の順でした。

申告はお済みですか

昭和五十年分の所得額の確定申告と納税は、二月十五日までです。まだお済みにならない人は、早目に済ませてください。

なお、申告しなかつたら、課税の申告をしますと法定更正が行われます。

この場合、追加の税額を納める

今日は防犯の日

栃木警察署では、年約千五百件(うち盗難狙い一四〇件、自転車盗二〇〇件)の犯罪が発生していますが、その半数近くが隠れ、忘れ、品物の放置、など防犯上の欠陥から被害にかかっています。

私たち一人一人が、身近かな生活の中で防犯に対する注意をはらい、「どうやらに狙われるスキを造らないように」、さらに近所の方々と力を合わせ地域ぐるみの防犯運動と一輪を広くすることが必要です。

そこで、毎月第二日目を「防犯の日」と定め、

犯罪の被害にかりやすいと、知らぬ間に、その欠陥を改善していくとともに、近所の人たちみんなの協力によって犯罪を防ぎ、明るい協力よい町づくりを進めていきたいと思います。

病気のいろいろ 独協医科大学病院 内分分泌科教授

その十四 下田新一

私たちの体には、沢山のホルモンを作る臓器があります。

甲状腺、副甲状腺、膵臓、副腎皮質、副腎髄質および性腺が古くから良く知られている内分泌腺で、これら内分泌腺よりホルモンが毎日異常なく分泌するよに命令しているのが、脳下垂体であり、内分分泌の形態や機能の異常をみつけその診断と治療を行うのが内分分泌科であります。

では、内分泌腺の異常とどのような症状が表われるのでしょうか。肥満・やせ・多食・多飲・多尿・身長がのびずたり、あるいは小人のようであったりするとき、多くの場合内分分泌腺のどこかに異常があります。

過血糖・尿糖・高血圧も内分分泌腺の異常であることもあります。

以下沢山の内分分泌腺の病気のうち代表的なもの二三を紹介いたします。

「尿崩症」一日五十リットルと多量の尿の排泄をみる病気で、これは脳下垂体後葉より分泌されている抗利尿ホルモン産生異常によるものであります。

また、手足の指が太くなり下顎が突き出し糖尿病と病気を「未端肥大症」と云い、脳下垂体前葉の成長ホルモンと分泌しその原因であります。

「パーセドウ病」頸脈、動悸・発汗・手のふるふる・甲状腺肥大・十分食へるが体重が減る等の症状が発病するのがバネドウ病で、甲状腺機能亢進症とも云います。

これは血中甲状腺ホルモン過剰で生ずる病気で、逆に血液中の甲状腺ホルモン濃度が低下すると貧血、浮腫皮膚乾燥、さむがり、便秘、忘れぼけなど。

これを「粘液水腫」あるいは甲状腺機能低下症と呼び、これらの病気は内科療法で完全に直ります。

「糖尿病」最近成人型糖尿病の増加が社会的に大きな問題となつていますが、当地でも例外ではありません。

糖尿病のインシュリン分泌異常や脳下垂体機能異常の関与した解糖異常を示す病気で、早期診断早期治療が適切に行われる必要がある病であります。

固定資産課税台帳の縦覧は
改正法の成立が4月初旬につれ込む場合を配慮して、昭和51年度の固定資産課税台帳の縦覧を下記の通り延期します。

縦覧期間 4月9日～4月28日
場所 壬生町役場税務課
時間 勤務時間中に限る

一般家庭などで使われている「ロパン」を販売するには、法律によって、販売の方法が定められています。いままで、「十割くらい」と云う販売の方法がとられていましたが、①甲味が十割あるが、②分らない③分量を消費者の面前で計量して、代金の精算をすることになって、なかなか守られない。と云う消費者の苦情が多かったため、消費者保護の立場から法律で「メータ」を取り付けなければ販売

あなたの家には ガスメーターはついていますか

できないように、販売業者に義務づけられました。
取付期限は、昭和五十一年三月三十一日ですが、まだ、取り付けないでいるご家庭では、ガス販売店に連絡して、早急に完了してください。

**鹿沼街道
花いっぱい運動**
県道小山・今市線の沿線に交通安全を願って、花いっぱい運動が推進されています。通行する人々にやさしさをあたえ、花を愛する気持を高めましょう。

「県道防災課から」
小学校では、新年度の入学を迎える準備として、一日入学などを計画して、多いと思いませんか。この旗は、児童生徒の横断個所にそれぞれ配分して、子どもたちから喜ばれておきます。

**足銀が横断旗を
奇附**
足利銀行壬生支店 武井博支店長)では、この固定資産課税台帳の横断旗を町に寄附されました。

**新入学期を
前にして**
小学校では、新年度の入学を迎える準備として、一日入学などを計画して、多いと思いませんか。

ご協力
県赤十字血液センターの移動採血車は、多くの血をのりで行います。ですから、多くの方々の献血をお願いします。

**あき果に
注意**
最近、あき果や、忍び込みの事件が、各地に多発しています。これは犯人は、白昼人目につかない家、忍び込んで、盗みを働くドロボーの専門家と云えます。

**予防接種の
お知らせ**
第二期種痘(ジフテリア)も小学校入学前(六月以内)の予防接種は、厚生省から接種を見合せるよう通知がありましたので本年は実施しません。

**保育所へ贈り物
星和雄監 (安塚二)**
金三十三八円
足利銀行壬生支店 行員一同

一般健康相談
家族計画から成人病をどの相談についてお気軽にお出かけください。
●とき 三月二十日 十時から二時まで
●ところ 中央公民館健康室

国民健康保険の届出



国民健康保険の財源日(税金の計算をする基準となる日)ですが、世帯員に次のよう異動がありましたら、至急届出をしてください。お断りします。
特に家族の内金社などに加入するようになり、社会保険などに加入するようになり、



**交通安全施設に
五十万円を寄附**
玩具団地協同組合(富山栄太郎理事長)では、玩具団地内の交通安全施設のために、このほど町長室を訪れ、金五十万円を町長に手渡しました。
最近、玩具団地内の交通事故が多く発生しているため、各会社でも困っており、事故防止として、あす道路標識をつけて、一件でも事故をなくそうと団結したもので、町では、昭和五十年度の事業として、三月末までに道路標識を設置するよう、仕事を進めています。

入しているにもかかわらず国民健康保険に加入していると、両方(社会保険と国民健康保険)に保険料(料)を納めることになり、国民健康保険の資格喪失届を出していただくようお願いします。
●資格を得る場合
イ 本町に転入したとき(世帯の一部の場合) 国民健康保険を持参する。
ロ 職場の健康保険をめぐって国民健康保険に加入するとき 国民健康保険を持参する。および退職または職証明書を持参すること。
ハ その他(理由) (生保廃止等) 国民健康保険に入る。
ニ 子供が生まれたとき(国民健康保険を持参する)
イ 資格を失う場合
◇ 資格を失う場合
イ 他市の市町村に転出する。
ロ 国民健康保険に加入したとき(国民健康保険に加入したとき)
ハ 破産者証の発行がなくなると、(いずれも国民健康保険を持参)
ニ 死亡した時(いずれも国民健康保険を持参)
イ 住所または氏名が変わった時
ロ 世帯主が変わった時
ハ 破産者証の発行がなくなると、(いずれも国民健康保険を持参)
ニ 死亡した時(いずれも国民健康保険を持参)
イ 住所または氏名が変わった時
ロ 世帯主が変わった時
ハ 破産者証の発行がなくなると、(いずれも国民健康保険を持参)
ニ 死亡した時(いずれも国民健康保険を持参)

**救急・火災は一九九番
消防士分署
農業電話からは
一般問合せなどの
電話は(2)二〇〇〇番**

ご協力
県赤十字血液センターの移動採血車は、多くの血をのりで行います。ですから、多くの方々の献血をお願いします。

**あき果に
注意**
最近、あき果や、忍び込みの事件が、各地に多発しています。これは犯人は、白昼人目につかない家、忍び込んで、盗みを働くドロボーの専門家と云えます。

春の火災予防運動
2月29日～3月13日

二月二十九日から三月十三日まで、春の全国火災予防運動が行われます。
毎年春先は、空気が乾燥して火災が起りやすく、大火を招きやすい季節ですが、火の取り扱いは十分気をつけましょう。

昨年一年間に壬生町で二十八件の火災が発生しております。
その主な原因は、みん気のゆるみからくる火災によるものです。
火災は、人災によるものが多く、少しの注意で防げます。火は恐いもの認識しましょう。

また、最近タバコの吸殻を投げ捨ての人がやめず、非常に危険です。やめましょう。

お知らせ



役場では、昭和五十一年度に採用する職員を次のように募集します。(町内居住者に限る。)

- ① 一般事務 五名
- ② 記録係 一名
- ③ 技補(下水道課、工手) 一名(男子)
- ④ 久任(稲葉中学校) 一名(主婦者住込)
- ⑤ 警備管理人 一名(主婦者住込)

◆資格
①は、昭和五十一年三月卒業見込の者、高校卒以上または、高校卒以上で年齢満二十一歳までの者、昭和三十年四月一日以後の生れ。
②は、有資格者で満四十五歳までの者。

免許更新新時講習

二月の日程は、次のとおりです
●十七日(金) 中央公民館
●二十六日(金) 独協医科大学
時間はいずれも午前十時から

◇手続
申込用紙請求先 役場総務課
提出先
◇締切日 三月六日(出) (厳守)
◇試験日 三月十日(予定)
赤ちゃん

健康相談

●とき 三月十一日(月) 二二日(火) 四月一日(金)
中央公民館保健室
時間は、十時から二時まで
●診察 検診を受けなかったお子さん、および九月月一「生児」
●持参するもの
母子健康手帳を忘れずに

三カ月児検診

●とき 三月十七日(水) 午後一時三十分から
●ところ 中央公民館日本間
●診察見 昭和五十一年十一月十日から同年十二月十九日まで(生まれたお子

母子健康手帳を忘れずに
妊婦検診と
血液検査
●とき 三月十五日(日) 一時三十分から
●ところ 母子健康センター
●診察者 壬生町に居住する産婦の方、また、結婚される方の血液検査も併せて実施していますのでご利用下さい。(無料です。)

廃犬引き取り日

知らない犬は、はなさないで廃犬引き取り日に出してください。
●日程 三月十日(水) 九時十分まで
●場所および時間 役場庁舎 九時十分まで
南栄飼支所 九時十分まで
稲葉事務所 九時四十分まで

当番医師のお知らせ

二月の日曜 祝日は、次の医師
以外は全部休診になります。

日	町名	医 院 名	電 話
七 日	上稲葉	渡辺 医院	(2) 1030
十四日	栄町	松本 医院	(2) 2002
二十日	城内	陣内 医院	(2) 0242
二十一日	安塚	佐藤 医院	(6) 0123
二十八日	城東町	前原 医院	(2) 0141

◎当番医師の往診はできません。



180

壬生町古代文化の基盤

日本列島は、今からおおよそ二千年前(古生代)にほぼつづつ海上に姿を現しはじめ、中世代を経て新世代になって気もかわり、新しい環境ができ、今の様な形になって来たといわれている。そして百万年前、洪積世になって人類が現われた。洪積世を旧石器時代と呼ぶのは、当時人間は石を削って様々な道具(石器)をつくったのでこう呼んだのである。洪積世〇年代は、氷河時代とも呼ばれてヨーロッパでは前後回にわたって氷河があらわれた。寒気と暖期の交で、海岸線が前進したり後退したりした。此の頃日本島に人類が存在したという証拠には明石原人(兵庫県明石市)、葛原人(栃木県葛生市)、牛川原人(愛知県牛川町)、三方日人骨等、洪積世人類の骨が出土していることわかるとにかくわれわれの住む郷土には数十万年もの昔に既に人類が住みついたことがわかる。見つかっている。この旧石器の出土する遺跡は真岡市磯山、那須町浅室、大田原市登部遺跡、請杉遺跡(塩谷町)氏家町依間田遺跡、鳥山町宮原遺跡、茂木町小深遺跡、栃木市豊野遺跡、佐野市堀米遺跡、田沼町下夜間遺跡、足利市大久保遺跡、平石遺跡等が解つている。旧石器に続く文化は先縄文時代縄文時代、弥生時代と続くことになる。壬生町では、故郷第一凱氏が祖製陶術を所持して居られ、発見地は福和田の黒川沿岸地と語られていた。前述の遺跡分布から栃木県の至るところに十数万年以前から人類が居住したことが知られる。関根ローム層という地層は洪積世時代火山活動が盛んな頃、降った火山灰の積ったのである。このローム層も都府付近は上の方から田原ローム層、宝木ローム層、宝積寺ローム層、戸祭ローム層の四層に分けられている。このローム層の中に眠り続ける石器が先述した旧石器なのである。然し、旧石器文化と縄文文化に移る間人類は石器を作る技術を知らなかった。それで、この時代を先土器時代と呼んでいる。壬生町の縄文遺跡は上田遺跡、福和田遺跡等が有名であるが他にも縄文土器の出土している例がある。 著者 大塚

“お知らせ”がおくれますから早く配布しましょう。